



# こどもクリニックニュース

NO. 142 平成23年11月1日発行  
ともながこどもクリニック

## 院長の予定 (2011年12月まで)

11月	9日	(水)	2才健診	保健センター
12月	2日	(金)	3ヶ月健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

## 休診の予定

年末・年始の休診

12月28日(水)～1月4日(水)

※水曜日は一日休診です。

## 小児科休日診療の当番表

平成23年11月

日にち	曜日	当番医
3日	(木)	ともながこどもC
6日	(日)	中田病院
13日	(日)	中田病院
20日	(日)	福島小児科医院
23日	(水)	つのだ小児科医院
27日	(日)	加藤こどもC

平成23年12月

日にち	曜日	当番医
4日	(日)	ともながこどもC

加須市内の小児科医による休日診療は、4月から10月までは祝日の午前中に実施されていました。11月から3月までは例年どおりほとんどの日曜・祝日に実施することとなりました。

この情報は、加須市の広報誌やホームページでもご覧になることも出来ます。



## 感染症の情報

10月は、手足口病や伝染性紅斑(リンゴ病)、溶連菌感染症が散見される程度で、目立った感染症はありませんでした。今後は胃腸炎やインフルエンザが流行してくる季節です。埼玉県外の地域ですが、インフルエンザによる学級閉鎖の話もあります。予防接種や手洗い、咳エチケットの励行をお願いします。

最近マスコミなどで、RSウイルス感染症が話題になっており、心配している方も多いようです。RSウイルス感染症に関する私の考え方を裏面に記載していますのでぜひご覧ください。



## インフルエンザワクチン

ただいま実施中です。  
完全予約制です。

接種料金

1回 3,000円

年齢や接種回数に関係なく、統一料金です。

2回接種の方は、合計6,000円となります。

通常診療や他の予防接種に大きな影響が出ないように、また短時間に集中して混雑することがないように、日にちや時間、ならびに時間帯ごとの接種人数を制限しています。土曜日の午後にはインフルエンザワクチン専用の時間帯を設定していますので、ぜひその時間帯をご利用ください。

13歳未満のお子様は、2～4週間の間隔での2回接種が勧められています。あらかじめ2回分の予約を済ませておられますようお願いいたします。

年齢ごとのワクチン接種量が変わりました。

生後6ヶ月から2歳までは1回0.25ml

3歳以上は1回0.5mlとなります。

6ヶ月未満の乳児は「接種対象外」です。

## RS ウィルスが流行中

「RS ウィルスが例年よりも流行し、お子様が肺炎などの重い症状になるので注意しましょう」というような報道が続き、不安な気持ちになってしまう方も多ようです。でも、冷静にこのウィルスの事を知ってください。

いわゆる「風邪症状・・・熱や鼻水、のどの痛み、咳」などを引き起こすウィルスはたくさんあります。RS ウィルスもその中の一つで、毎年冬になると流行しています。今まで話題にならなかっただけです。ニュースでも解説していましたが、ほとんどのお子様が、2 才くらいまでに一度はかかると言われています。それくらい「ごくありふれた」ウィルスなのです。大多数の方は「単なる風邪」で治ってしまいます。運悪く肺炎になったり、喘息のような呼吸困難（ゼイゼイ・ヒューヒューといった音が聞こえます）を起こして入院治療が必要になる方もいますが、それはごく一部の方です。

0 歳児、とりわけ生後 6 ヶ月くらいまでの赤ちゃんはこのような重い症状を起こすことがあるので注意が必要です。でも繰り返しますが、重くなるのは少数の方です。

### 検査で診断はできるのですが・・・

このウィルスに感染しているかどうか、めん棒で鼻水を採って確認することが出来ますが、いくつかの問題があります。

まず、1 歳以上の外来患者さんでは保険が適応されません。したがって検査費用が患者さんの自己負担（または医療機関がボランティアで実施）することになります。

又このウィルスは、インフルエンザと違って特效薬がありません。検査で診断できたとしても、治療の内容はまったく変わらない、つまり早期診断のメリットが全く無いのです。症状が重くて入院が必要な方にだけ、確認のために検査をするというのが一般的だと考えます。

### 普通の経過・・・

おおむね 3 歳以上のお子様や成人の方は、風邪症状だけで治ってしまいます。RS ウィルスで重症になるのは小さな赤ちゃん、とりわけ生後 6 ヶ月未満の赤ちゃんなのですが、風邪症状が出たからといって、すぐに深刻に悩む必要はありません。熱や咳が出ていても、機嫌良くミルクも普段通りに飲めていればまず心配ありません。1～2 週間程度の経過で自然に治ってしまう事がほとんどです。

### 保育園で流行している・・・

今年は例年より早く流行し、その分入院治療が必要になるお子様も増えているのは事実なのですが、ほとんどの方は自然に治る「風邪」の一つです。登園禁止や隔離する必要もない病気です。「かかってしまったら、お互い様」といった感覚で過ごしていただきたいものです。

### 家庭で観察するポイント・・・

呼吸困難や顔色など、赤ちゃんの病気が悪くなったかどうかを判断するポイントはいくつかあるのですが、ご家庭で簡単にわかるのは「ミルクの飲み方」だと思います。風邪症状があっても、熱があっても、普段通りにミルクを飲めていれば、まず心配ありません。飲む量が急に減ってきた時は、早めの受診をおすすめします。

ちなみにワクチンはありません。



### ワクチンの公費接種はいつまで？ 子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌



この 3 種類のワクチンは現在、ほとんどの市町村で公費で接種されていますが、法律上はあくまで「任意接種」という位置づけです。来年度以降も公費での接種が続けられるかどうかは、今後の国会での審議・採決の結果次第ということになります。厚生労働大臣は今後も続けたという主旨の発言をされたという話を耳にしましたので期待しましょう。できれば、法律に基づく「定期接種」として、ずっと将来も継続してほしいものです。



### 子どもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付けでお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともなが子どもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150